

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年3月29日（水）
- 2 確認箇所
固体廃棄物貯蔵庫第6棟、第7棟
- 3 確認項目
固体廃棄物貯蔵庫第6棟、第7棟の状況

4 確認結果の概要

固体廃棄物貯蔵庫は、事故前から保管されていた放射性固体廃棄物や、廃炉作業で発生した瓦礫等を保管する目的で設置されている。廃棄物管理の状況を確認するため、今回は固体廃棄物貯蔵庫第6棟、固体廃棄物貯蔵庫第7棟（以下それぞれ「第6棟」、「第7棟」という。）1階部分の状況を確認した。（図1）

- ・第6棟は、通路を中心に北側と南側の二つに分かれており、両側にドラム缶が2～3段積みで保管されていた。（写真1）
- ・第7棟は、通路を中心に北側と南側の複数の部屋に分かれており、ほとんどシャッターが閉まっていたが、一つだけ開いていたシャッターの内部を確認したところ、ドラム缶が保管されていた。（写真2）
- ・第6棟、第7棟共に、ドラム缶が目立った錆等は見られず、廃棄物の管理状況に問題は見られなかった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
第6棟(北側)における廃棄物
保管の状況(1)



(写真1-2)
第6棟(北側)における廃棄物
保管の状況(2)



(写真1-3)
第6棟(南側)における廃棄物
保管の状況



(写真2)
第7棟における廃棄物保管の状
況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。